

平成 28 年 4 月 28 日

各位

株式会社 北洋銀行

平成 27 年度「ほっく一基金」贈呈先の決定について

北洋銀行は、「ほっく一基金選定協議会^(※)」における協議を踏まえ、北海道の「生物多様性保全」に取り組まれている団体を、平成 27 年度「ほっく一基金」(別紙参照)贈呈先として決定しました。

各団体には、下記日程で開催予定の贈呈式において、それぞれ 100 万円、合計 700 万円を贈呈させていただきます。これにより、平成 22 年の基金設立以来、基金からの贈呈は延べ 33 先 3,640 万円となります。

当行は、今後も環境に配慮した商品や金融サービスの提供を通じて、環境保全に取り組むお客さまを支援するとともに、CSR を経営の重点課題と位置づけ、「地域社会への貢献」に引き続き取り組んでまいります。

(※)選定の妥当性・公平性・透明性を図るため、北海道、北海道環境財団、日本動物園水族館協会、当行により構成。

記

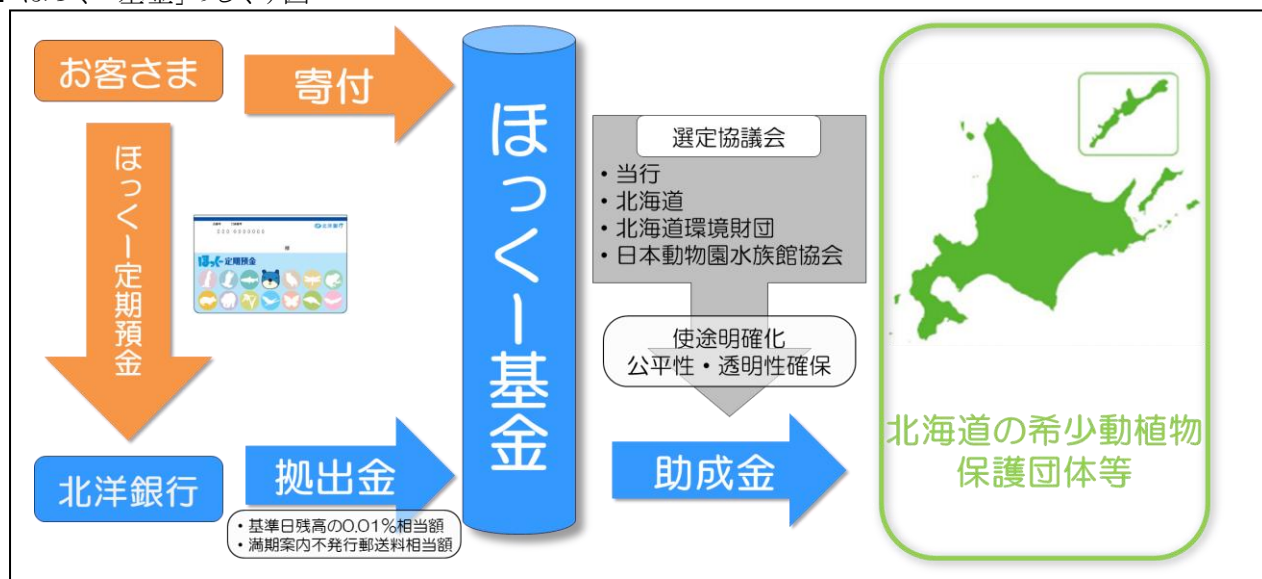
<「ほっく一基金」贈呈式 開催日程>

日時	贈呈先	場所
6 月 16 日(木) 14 時	「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会	北海道獣医師会館
6 月 17 日(金) 14 時	カラカネイトンボを守る会	茨戸川緑地管理事務所
7 月 15 日(金) 13 時 30 分	日本鳥学会	北海道大学 総合博物館
7 月 21 日(木) 13 時	エゾシカ食肉事業協同組合	知床エゾシカファーム
7 月 21 日(木) 14 時 30 分	公益財団法人 知床財団	知床自然センター
7 月 29 日(金) 10 時 30 分	大沼ラムサール協議会	大沼国際セミナーハウス
7 月 29 日(金) 14 時	山歩集団 青い山脈	松前郡福島町役場

以 上

1. ほっくー基金の概要

■「ほっくー基金」のしくみ図



■ほっくー定期預金

「ほっくー基金」の主な原資として、「ほっくー定期預金」を全店でお取り扱いしています。お客さまからお預け入れいただいた「ほっくー定期預金」3 月末時点残高の 0.01%相当額と、満期案内不発行により削減できる郵送料相当額を、当行は「ほっくー基金」に拠出いたします。これにより、お客さまは金銭負担なく、間接的に「ほっくー基金」へ参加し、北海道の生物多様性保全に貢献いただくことができます。

2. 贈呈先の詳細

贈呈先	活動内容	寄付金使途
「人と海鳥と猫が共生する天売島」 連絡協議会 (羽幌町)	天売島の生態系(主に海鳥)を守るため、捕食者である野良猫を捕獲し、里親探しを実施しています。	・野良猫の捕獲、馴化、譲渡活動 ・子供たちへの環境教育実施
カラカネイトンボを守る会 (札幌市)	希少種であるカラカネイトンボ等の保護、生息域の環境保全、ナショナル・トラスト活動をはじめとした自然再生に向けた取り組みを、地域住民と共同で実施しています。	・冬水田んぼの造成工事、維持 ・ヘイケボタルの飼育に伴う環境整備
日本鳥学会 (札幌市)	鳥学の発展と鳥類保護のため、研究成果を広く発信しています。平成28年9月には、札幌にて年次大会が開催されます。	鳥学を担う若手の発掘や育成のため ・同大会への大学生の参加費補助 ・高校生を対象とする企画の開催費補助
エゾシカ食肉事業協同組合 (斜里町)	増えすぎたエゾシカによる農林業被害や自然植生破壊を軽減するため、捕獲したエゾシカの有効活用(食すること)を推進し、生物多様性保全に寄与する活動を実施しています。	・組合加入事業者に対する講習会開催 ・商談会で配布するチラシ作成 ・観光客や学生に対する環境教育実施
公益財団法人 知床財団 (斜里町)	知床半島およびその周辺地域の自然環境に関する調査研究、自然保護の普及啓発を図り、自然環境の保全管理、公園施設等の管理運営を実施しています。	平成28年4月の北海道知床世界自然遺産条例の施行にあわせた自然体験プログラムの実施等
大沼ラムサール協議会 (七飯町)	同協会は地元住民や環境保護団体、行政などから構成されており、大沼の環境保全や後世に引き継ぐことを目標に環境学習や保全活動などを実施しています。	・ウシガエル等の外来種のシンポジウム開催 ・住民参加型のワークショップ開催
山歩集団 青い山脈 (松前町)	高山植物の盗掘監視活動を実施する他、福島町や松前町を中心に自然観察会を開催。環境省の自然調査「モニタリング1000」に参加し里山調査を実施しています。	・盗掘防止のぼり作成 ・大千軒岳の登山道補修 ・大千軒岳山頂の標識設置、更新